



「第2回南三陸町産業フェア」が、11月3日(金)に志津川魚市場で、11月12日(日)に平成の森で開催されました。  
2日間とも好天に恵まれ、会場は新鮮な旬の食材を買い求める大勢の買い物客でにぎわいました。



大鍋コーナーは、8種類の鍋から好みを選んで、大好評！  
(今回は山形県庄内町の鍋も参加)

第2回

# 南三陸町産業フェア



歌津会場のステージでは、うたちゃんソーランなどが披露されました。

伊里前獅子舞が勇壮に舞い、会場を盛り上げました

友好町の山形県庄内町も出店参加

## 山里の秋まつり



11月5日(日)、ひここの里を会場に「ひここの里秋まつり」が開催されました。  
会場のふれあい広場では、いも煮などの大鍋や秋の味覚を堪能できるコーナーが並び、フリーマーケットや子どもたちの餅つき大会、地元農産物の販売など、盛りだくさんの内容で行われました。  
特設ステージでは入谷女相撲甚句などが披露され、訪れた行楽客らは、はっと汁や豚汁などを味わいながら、里の秋まつりをのんびりと楽しんでいました。

いも煮などを食べながらまつりを楽しむまつり

## 南三陸クリーンアップ作戦

11月14日(火)、中高一環教育を実施している志津川高校と町内4中学校の生徒・教職員ら約1,100人が、道路や公園、海岸など町内30区域に分かれて、清掃奉仕活動「南三陸クリーンアップ作戦」を行いました。  
今年度は10月初旬の低気圧による高波でごみが多く打ち上げられた戸倉松原海岸・さわやか公園海岸と、海水浴場サンオーレそではま公園や荒島パークを重点的に行いました。  
戸倉松原海岸では、打ち上げられたごみの散乱が激しく、埋もれた漁具などを中高生が協力して運ぶ姿が見られ、拾い集めたごみは、あっという間にトラックいっぱいになりました。



中高生と一緒に海岸清掃(戸倉松原海岸)



シャッフルボードなどを夢中で遊ぶ子どもたち

## ニュースポーツを体験

11月19日(日)、「スポーツ健康まつり」が、志津川公民館体育館で開催され、親子連れや友達同士など約80人が、ニュースポーツを楽しみました。  
参加者は、体育指導員からゲームのやり方の説明を受けながらシャッフルボード、ラージ卓球、ペタンク、エレクトリックダーツなどを体験し、さわやかな汗を流しました。

## いざという時は水道施設復旧活動を行います 町と上下水道工事組合が連携

11月21日(火)、町と南三陸町上下水道工事組合が、水道施設の「災害時における応急復旧活動等に関する協定」の調印式が、役場会議室で行われました。  
この協定は、組合に加盟する町内14社が災害時に町の要請を受けて、飲料水などの給水、復旧活動に人材派遣や資機材を提供しライフラインの確保に努め、町は復旧に要した資材費用や作業時の負傷などに対する補償することなどを定め、安心して応援活動に従事できるよう環境を整えたものです。  
また、町外への応援活動も行えるものとしています。  
当町は今年5月に友好町の山形県庄内町と、7月には岩手・宮城県際11市町との間でそれぞれ災害時相互応援協定を結びましたが、民間と災害時の協定を結ぶのは、これが初めてです。

## 災害時における応急復旧活動等



協定書に署名を終え、握手する佐藤組合長(左)と町長

## 数え100歳 近所の皆さんと、お茶飲み話を楽しんでいます



小野ミサヨさん

満99歳を迎えた小野ミサヨさん(◎中在)に、11月24日(金)、町からお祝い金などが贈られました。  
小野さんは、明治40年(1907年)11月23日に歌津字石泉に生まれ、結婚後は夫の農業の手伝いながら7人の子どもを育て、現在では孫が17人、ひ孫が16人と家族にも恵まれています。  
小野さんは、今年の歌津地区敬老会において、招待者を代表として「お礼の言葉」を話すなど、とてもお元気です。また、ほうれん草などの出荷を手伝うなど、農業を現役でこなしています。  
「好きなことはテレビを見ることと、お茶飲み話をすること。」と話す小野さんは、近所に出かけ、世間話などを楽しんでいるそうです。また、食べ物に好き嫌いはなく、何でも食べるそうです。  
長生きの秘訣をうかがうと、「ご近所の皆さんとお茶を飲みながら色々なお話をします。そうやって毎日楽しく過ごすこと。」と教えてくれました。  
これからはますますお元気で過ごしてください。

